

特別展 ポストン美術館の至宝展 東西の名品、珠玉のコレクション

開催概要 | 展覧会内容 | 入館料金 | 関連イベント

小中大

平成29年（2017）10月28日（土曜日）～平成30年（2018）2月4日（日曜日）
《83日間》

開館時間：

9時30分～17時30分

※土曜日は19時まで開館

※11月24日（金曜日）、12月22日（金曜日）、1月26日（金曜日）はプレミアムフライデー
の取り組みとして

21時まで開館

※入館はそれぞれ閉館の30分前まで

休館日：

月曜日、平成29年12月29日（金曜日）～平成30年1月1日（月曜日・祝日）、1月9日（火曜日）

[ただし、1月8日（月曜日・祝日）は開館]



世界屈指の美の殿堂、ボストン美術館の主要なコレクションからえりすぐった、珠玉の80点を紹介します。同館のコレクションによる展覧会はこれまでも繰り返し開催されてきましたが、幅広い内容を総合的にご覧いただく展覧会は、日本では約40年ぶりとなります。1876年に開館したボストン美術館は、国や州の財政的援助を受けずにコレクションの拡充を続け、現在は世界有数となる約50万点の作品を所蔵しています。本展は、この素晴らしいコレクションの形成に寄与したコレクターやスポンサーの活動にも光を当てます。古代エジプト美術、中国美術、日本美術、フランス絵画、アメリカ絵画、版画・写真、現代美術と、東西の名品の数々を堪能できる本展にどうぞご期待ください。

★ボストン美術館の至宝展公式サイトはこちらです★

★神戸市立博物館フェイスブックページはこちらです★

📍 [会場の神戸市立博物館の所在・交通](#)

★★報道関係の皆様へ★★

開会式や記者内覧会の日程、展覧会広報のための作品写真の掲載・提供は、[記者提供資料](#)をご覧ください。

展覧会の構成と主な出品作品

出品点数 80点

本展覧会の出品目録

I 古代エジプト美術

《ツタンカーメン王頭部》

エジプト、新王国時代、第18王朝、ツタンカーメン王治世時、紀元前1336-1327年

第18王朝の若き王ツタンカーメンと考えられている頭部像。王はネメス頭巾をかぶり、額にある縦の溝にはウラエウス（蛇形記章）があったとされている。頭巾の上には、上下エジプト統一の象徴である二重冠の赤冠の一部が残っている。アーモンド型の眼、官能的な唇—その魅力的な顔立ちは、1922年に「王家の谷」で発見された黄金のマスクに似ていることが指摘されている。

Museum purchase with funds donated by
Miss Mary S. Ames, 11.1533



II 中国美術



陳容《九龍圖卷（部分）》

南宋・淳祐4年（1244）

約10mに及ぶ長大な画面に描かれた9匹の龍。沸き立つ雲と荒れ狂う波のなか、あるいは悠然と飛翔し、あるいは佇むさまを粗放な筆墨で描き出している。作者の陳容は南宋末期に活躍した画家で、特に龍図を得意としたことで知られている。なかでも本図は、かつて清朝の乾隆帝も旧蔵した龍図の名品である。

Francis Gardner Curtis Fund, 17.1697

III 日本美術

英一蝶《涅槃図》

正徳3年（1713）

《涅槃図》は英一蝶（はなぶさいちょう・1652～1724）による仏画の大作で、画面だけでも高さ約2.9m、幅約1.7m、表具を含めれば高さ約4.8m、幅約2.3mにも及ぶ。涅槃に入る釈迦と悲しみにくれる羅漢や動物たちを鮮やかな色彩で大画面に描いている。明治19年（1886）以前にフェノロサが購入してからはボストン美術館で収蔵され、作品の大きさと経年による劣化ゆえ、同館でも一度しか公開されていない。このたび、約170年ぶりに本格的な解体修理が行われ、初めて里帰りを果たした。江戸時代の人々が祈り、想いを馳せた、幻の巨大涅槃図は必見である。

Fenollosa-Weld Collection, 11.4221





會我蕭白《風仙図屏風》
宝暦14年／明和元年（1764）頃
Fenollosa-Weld Collection, 11.4510

IV フランス絵画



フィンセント・ファン・ゴッホ
《郵便配達人 ジョゼフ・ルーラン》
1888年
Gift of Robert Treat Paine 2nd,
35.1982



フィンセント・ファン・ゴッホ
《子守唄、ゆりかごを揺らすオーギュスティーヌ・ルーラン夫人》
1889年
Bequest of John T. Spaulding, 48.548

1888年2月、パリから南仏のアルルに移り住んだファン・ゴッホ。彼はこの地で、郵便の仕事に携わるジョゼフ・ルーランと親しくなった。ジョゼフとその妻オーギュスティーヌ、3人の子供たちは、ファン・ゴッホお気に入りのモデルとなり、一家の肖像画を20点以上手がけている。夫ジョゼフは6点、妻オーギュスティーヌは5点の作品が知られている。ボストン美術館は夫妻それぞれの肖像画を所蔵しており、制服姿のジョゼフは立派なひげ面をたくわえて椅子に腰掛け、オーギュスティーヌは鮮やかな花柄を背にしてゆりかごの紐を手にした姿で描かれている。このたび、ボストン美術館が所蔵するルーラン夫妻の肖像画2点が初めて一緒に来日を果たす。

クロード・モネ《睡蓮》



1905年

Gift of Edward Jackson Holmes, 39.804

V アメリカ絵画

ジョン・シンガー・サージェント
《フィスク・ウォレン夫人（グレッチェン・
オズグッド）と娘レイチェル》

1903年

Gift of Mrs. Rachel Warren Barton and Emily
L. Ainsley Fund, 64.693



VI 版画・写真

ウィンスロー・ホーマー 《八点
鐘》

1887年

Gift of W. G. Russell Allen,
31.1285



VII 現代美術

All Photographs © Museum of Fine Arts, Boston

This exhibition was organized by the Museum of Fine Arts, Boston.

主催：神戸市立博物館、朝日新聞社、朝日放送、BS朝日

後援：アメリカ大使館

特別協賛：第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命

協賛：セコム、凸版印刷、三菱商事、JR西日本、日本教育公務員弘済会兵庫支部、パナソニック

協力：日本航空、日本貨物航空

★入館料(常設展も合わせてご覧いただけます)

	当日券	前売券	団体券(20名以上)
一般	1,500円	1,300円	1,300円
大学生	1,100円	900円	900円
高校生	900円	700円	700円
小・中学生	600円	450円	450円

※65歳以上で「神戸市すこやかカード(老人福祉手帳)」持参の方は当日一般料金が半額。

※障がいのある方は障がい者手帳などの提示で無料。

※小中学生で「のびのびパスポート」をお持ちの方は、同パスポートの提示により無料。

※前売券は平成29年10月27日(金曜日)まで販売。

★関連行事★

◆特別講演会

平成29年12月27日(水曜日) 14時～15時30分

「ボストンのコレクターたちと、ヨーロッパ名画の探求」

講師：フレデリック・イルチマン氏(ボストン美術館 ヨーロッパ美術部 部長 キュレーター)

会 場：神戸市立博物館 地階講堂

定 員：160名（当日先着順）

※聴講無料（ただし、本展観覧券が必要。当日、13時から講堂前で入場整理券を配布。）

◆記念講演会

①平成29年10月28日（土曜日） 14時～15時30分

「ボストン美術館の偉大なコレクターたち」

講 師：モーリーン・メルトン氏（ボストン美術館 図書館・アーカイブ館長、美術館歴史家
／スーザン・モース・ヒルズ記念席）

②平成29年11月18日（土曜日） 14時～15時30分

「ファン・ゴッホによるルーラン夫妻の肖像画について」

講 師：大橋 菜都子氏（東京都美術館 学芸員）

③平成29年12月16日（土曜日） 14時～15時30分

「皇帝の絵画 ボストン美術館所蔵の中国名画」

講 師：板倉 聖哲氏（東京大学東洋文化研究所 教授）

④平成30年1月13日（土曜日） 14時～15時30分

「コレクターとコレクションーボストン美術館の日本・中国美術」

講 師：石沢 俊（神戸市立博物館 学芸員）

会 場：神戸市立博物館 地階講堂

定 員：160名（当日先着順）

※聴講無料（ただし、本展観覧券が必要。当日、13時から講堂前で入場整理券を配布。）

◆イブニング・レクチャー(学芸員による展覧会の見どころ解説)

会期中の毎週土曜日 17時～17時30分

会 場：神戸市立博物館 地階講堂

定 員：160人(当日先着順) ※聴講無料(ただし、本展観覧券が必要。)

◆ジュニアミュージアム講座

①11月19日（日曜日） 10時～12時

「きみはゴッホを超えられるか!?～ゴッホのタッチをまねて身近な人や物を絵にかいてみよう
～」

②1月14日（日曜日） 10時～12時

「涅槃図にジャンプイン!!～英一蝶の涅槃図の不思議な絵の世界に飛び込んで楽しんじゃおう
～」

対 象：小学4年生～中学生

会 場：神戸市立博物館 地階考古学習室

定 員：20名（応募多数の場合は抽選）

参加費：500円（参加する子供の入館料は無料。付き添いの保護者は団体料金でご入館いただけます。）

◎申し込み方法

・往復はがきに、希望イベント名、参加希望者全員のお名前、年齢、電話番号、返信用のあて名を記入し、下記の申込先へ郵送してください。

申込先：〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
神戸市立博物館子供プログラム係

【締 切】 ①11月5日(日曜日)・②12月17日(日曜日) 消印有効

※1枚のはがきで複数イベントへ申し込むことはできません。

◆親子鑑賞会

12月3日(日曜日) 午前の部：10時30分～12時 午後の部：14時～15時30分

対 象：小中学生の子供とその保護者

会 場：神戸市立博物館 地階講堂

定 員：各回先着50名(当日受付)

参加費：無料(ただし、本展観覧券が必要)。各回30分前から講堂前で整理券を配布。

[開催概要](#) | [展覧会内容](#) | [入館料金](#) | [関連イベント](#)